

令和4年度学校自己評価システムシート (県立日高高等学校)

目指す学校像	地域の期待に応え、社会で活躍できる生徒を育てる学校
--------	---------------------------

重点目標	1 授業改善を進め、基礎学力の向上を図る 2 基本的な生活習慣を確立させ、豊かな心身を育む 3 組織的・計画的な進路指導を充実させ、一人ひとりの進路実現を図る 4 地域・保護者との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者学校関係者	4名
生徒	2名
事務局(教職員)	6名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
年 度 目 標			年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】授業研究や授業改善を行い、授業に満足している生徒の割合は向上している。資格取得に向けた補習体制により、生徒は各種検定合格に向けて意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【課題】ICTを効果的に活用し、コロナ禍に対応したオンライン授業等の工夫改善を図る必要がある。基礎力診断テストを活用し、学習到達度の把握に努め、生徒の実態に即した授業を展開することが望まれる。</p>	授業の満足度85%以上を維持すること等を通じて、学習意欲を高め基礎学力を向上させる。	<p>①教員相互の授業観察や研修会を通じて、教員の授業力を向上させ、生徒の基礎学力の定着を目指す。</p> <p>②年2回の学校評価アンケート(6月、12月)を実施し、経年変化の調査を継続する。</p> <p>③自習室の開室・利用促進、朝学習、タブレット、学習サポーター、全クラス配付の新聞4紙を活用して、学習意欲を育成する。</p> <p>④基礎力診断テストを活用し、個々の学習到達度を把握し、個に応じた学習指導をさらに充実させる。</p> <p>⑤各種検定試験に挑戦させ、達成感と向上心を育成する。</p>	<p>①授業公開や研修会を実施できたか。</p> <p>②アンケートの結果、「授業がわかる」、「授業に満足」の回答85%以上。保護者の満足度95%以上を維持できたか。</p> <p>③自習室・朝学習の実施状況。タブレット・学習サポーター・新聞を活用できたか。</p> <p>④基礎力診断テストの結果を基に基礎学力がどれくらい伸長したか。</p> <p>⑤検定試験の受験状況、資格取得状況。</p>	<p>①授業公開週間や各種研修会等で相互の授業を参観・協議し、授業力の向上に繋がった。</p> <p>②「授業が分かる」90%、「授業に満足」90%と、それぞれ昨年度より上昇。本校への満足度は生徒85%、保護者96%と昨年より上昇。</p> <p>③朝学習、タブレット、自習室、学習サポーターを活用し学習意欲や学力向上に繋がった。</p> <p>④基礎力診断テストの伸長度を計測した結果、確実な基礎学力の向上が見られた。</p> <p>⑤全商検定、英検の受験者・資格取得者数はやや減少。漢字検定は1,2年生全員受験を実施。</p>	A	<p>【課題】引き続き、基礎学力の向上、探究型学習の推進、観点別評価の完成、資格取得に対する意識改善が必要。授業満足度の一層の向上に向けての工夫。</p> <p>【改善策】委員会等で、学力の一層の向上や、探究型学習の研究・構築を推進。放課後補習や学習室を活用。タブレットを活用した授業の工夫と推進。</p>
2	<p>【現状】落ち着いた生活環境に伴い、挨拶のできる生徒が増加した。多くの社会貢献活動をとおして、本校の地域への貢献度や存在感も高まっている。</p> <p>【課題】基礎的な生活習慣を確立させるために、さらに組織的に継続した指導をする必要がある。部活動において部員が定着するように指導の工夫をして、部活動を活性化することが望まれる。また、コロナ禍でも実施される社会貢献活動に積極的に参加し、自己有用感を持たせることが望まれる。</p>	<p>基本的な生活習慣を確立し、規律ある態度を身につけさせる。</p> <p>体験活動や社会貢献活動に積極的に参加させることにより、生徒の豊かな心身を育成する。</p>	<p>①挨拶励行・時間厳守・整理整頓の目標を教室に掲示し、規律ある生活態度を育成する。</p> <p>②朝の挨拶運動を継続し、あらゆる場面で率先して挨拶ができる生徒をさらに増加させる。</p> <p>③TPOに応じた服装指導等を学校全体で実施する。</p>	<p>①「ルールを守っている」、「整理整頓ができていいる」の回答90%以上。</p> <p>②教員は毎日、生徒会は週1回の挨拶運動ができたか。「挨拶をする」の回答95%以上。</p> <p>③登校時、全校集会時に実施できたか。</p>	<p>①「ルールを守っている」93%、「整理整頓ができていいる」93%と回答は上昇した。</p> <p>②教員は毎日、生徒会は週1回の挨拶運動を実施。「挨拶をする」は87%と昨年より上昇。</p> <p>③生徒指導部・学年で連携して指導し、生徒指導件数は全校で年間2件と大幅に減少した。</p>	A	<p>【課題】コロナ禍で遅刻者等は増加傾向。基本的な生活習慣の確立に向け意識の改善を図る。</p> <p>【改善策】登校指導、HR指導、全校集会等を通じて学校全体で生活指導を継続的に実施。</p>
3	<p>【現状】各学年で工夫した進路計画を組織的に指導し、ほぼ全員の進路を確定することができた。</p> <p>【課題】進路に対する意識が希薄な生徒もいる。生徒の職業観や就労への意識を高める工夫や機会を増やし、個々の生徒の適性に応じた進路指導が求められている。</p>	計画的・組織的な統一した進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。	<p>①3年間を見通した進路計画を策定し指導をして、さらに見直しを図りながら生徒一人一人に適した進路指導を実施する。</p> <p>②進路行事・キャリア教育講演会を実施し、生徒の進路意識を向上させる。</p> <p>③保護者対象の進路説明会や情報発信の工夫により、家庭の理解を深め協力を求める。</p> <p>④外部機関や就職支援アドバイザーとの連携により、生徒をオープンキャンパスや合同企業説明会に積極的に参加させる。</p>	<p>①計画的かつ組織的に指導できたか。進路未定者がゼロに近づいたか。</p> <p>②充実した進路行事等が実施できたか。</p> <p>③保護者対象の進路説明会を開催できたか。またその際、保護者宛文書や一斉メールを活用できたか。</p> <p>④参加人数とその内容。</p>	<p>①3年生全員の希望に合った進路が内定した。特に本年度は進学者が大幅に増加した。</p> <p>②企業等の協力を得て、生徒の満足度の高い講演会を実施し、進路意識の向上に繋がった。</p> <p>③進路指導において文書や一斉メールを活用し、保護者と連携し理解と協力が得られた。</p> <p>④進路行事においてリモートを活用する等、形態を工夫し、希望する生徒全員が参加した。</p>	A	<p>【課題】就職希望が減少し進学志望が増加傾向。幅広い進路選択を視野に本人に適切な進路指導を実現していくことが課題。</p> <p>【改善策】就職、進学に対応できるように、1,2年生から進路を意識した日頃の学校生活の大切さを集会等で伝えていく。</p>
4	<p>【現状】文化祭や体育祭等の学校行事への地域や保護者の期待は高まっている。また、地元小中学校との信頼関係を維持し、6年連続で入試倍率も1倍以上をほぼ保持している。</p> <p>【課題】学年別懇談会、PTA総会等の行事を複数の連絡手段を通じて周知し参加者を増加させる必要がある。学校説明会の内容や時期の見直しを図り、効果的に実施し、志願者の確保に向けた取組を学校全体で行う必要がある。</p>	<p>PTA活動をより充実させるなど保護者との連携を深める。</p> <p>本校の魅力を情報発信し、理解度を高め志願者数を増やす。7年連続入試倍率1倍超を実現させる。</p>	<p>①PTAだよりを年3回発行し、保護者への広報活動に努め、ホームページに掲載する。</p> <p>②保護者会等あらゆる機会を通じて、一斉配信メールへの登録を呼びかける。</p> <p>③PTA理事会等を通じて保護者同士のネットワークを構築し、学校行事への支援と参加を呼びかけ、PTA活動の充実を図る。</p>	<p>①PTAだよりの発行状況。ホームページへの掲載状況。</p> <p>②一斉配信メール登録者100%。配信回数年間50回以上。</p> <p>③昨年度と比べて参加者が増加したか。</p>	<p>①PTAだよりを今年度も3回発行できた。</p> <p>②一斉配信メール登録者100%、配信回数は年77回を超えた。行事やお知らせ、長期休業の前後に配信し、保護者へ協力依頼ができた。</p> <p>③PTA理事会は予定通り開催でき、PTA活動の充実につながった。</p>	B	<p>【課題】役員改正も含め各行事の開催に向けて、PTA活動の継続性が引き続き課題である。</p> <p>【改善策】PTA役員同士のネットワークを広げ、役員以外の保護者へもPTA活動の情報発信をしていく。</p>
			<p>①ホームページの内容を充実させ、更新回数年間200回以上、アクセス数1日平均950件を目指す。また、「日高高校だより」を学期に1回以上発行することを目標とする。</p> <p>②学校説明会の内容を充実させ、本校の魅力を積極的に発信する。</p> <p>③コロナ禍であるが、工夫しながら地域や地元小中学校との連携を深め、本校への理解啓発を進める。</p>	<p>①ホームページの更新数及びアクセス数、「日高高校だより」の発行回数。</p> <p>②学校説明会等への参加者数及び参加満足度。</p> <p>③各取組の実施状況とその内容。</p>	<p>①更新回数は年間160回程度と増加したが、アクセス数は1日平均2650件とやや減少した。</p> <p>②学校説明会でもリモートを活用する等の工夫を図った結果、複数回出席する志望者や保護者も多く、参加者数も増加し、満足度のある説明会が実施できた。</p> <p>③コロナ禍で今年度も出前授業、公開講座、他校等との連携は控えめの取組となった。</p>	B	<p>【課題】ホームページの内容の充実を図り、学校と地域とWINWINの活動を発展させる。</p> <p>【改善策】ホームページの内容の充実を図る。日高市や近隣の学校との連携を強化し、志願者の増加に工夫と改善を図る。</p>

学校関係者評価	実施日令和5年2月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>○落ち着いた授業を受けているが、おとなしさ、元気のなさを少し感じた。</p> <p>○基礎力の診断テストについて学力が見える化できていることは良いことだと思う。</p> <p>○中学校で使用しているタブレットが違うため、高校でタブレット学習をする時に様々な対応が必要になると思う。今後のタブレット学習の検証が必要。</p> <p>○学校を長年見てきているが、だんだんレベルアップして良くなっている。</p> <p>○叱る教育からほめて育てる教育と言う話は共感する。</p> <p>○教室内の整備・整頓が行き届いている。</p> <p>○中学校側としては、いろいろなタイプの生徒を見てもらっているのは有難いと思っている。</p> <p>○校則の説明責任については中学校でも同じ苦労がある。高校をお手本にさせてもらいたい。</p> <p>○今後のコロナの扱いについて注意して見ていく必要がある。</p> <p>○進路について今の高校1年生までは、中学校で進路体験や就労体験学習を行うことができたが、次の入学生からは全くできていなかった。高校で改めて学習する機会をお願いしたい。</p> <p>○先生方のお陰で今があると思う。良い卒業式を迎えられる。</p> <p>○地域の活動を一緒にやって、是非一緒に地域を盛り上げてもらいたい。</p> <p>○地域の啓発交流会(BJサミット)をぜひやって欲しい。高校生に話をしてもらえるとありがたい。</p> <p>○やって良いことと悪いことの認識は、家庭での教育が大事であると思う。</p> <p>○日高市の魅力発信など高校生からの提言などももらえるとありがたい。探究学習などでお互いに協力体制を作っていきたい。</p>